

ST(言語聴覚士)が講師となり、看護師、看護助手、リハビリ職員を対象にした**食事介助**の勉強会を行いました。



大勢の職員が参加し、とても活気ある雰囲気の中で勉強会を行うことができました。

食事介助する側の経験はあっても、体験したことない**「介助される側の気持ち」**を理解して頂くことが第一の目的でした。目を閉じ、ギャッチアップの車椅子へ乗り移った状態で、いきなり食べ物が入ってくると

「いや～！なにこれ～!!」など会場中から叫び声が・・・。

“怖さ”を体験することで患者さんへの適切な声掛けの重要性などを再認識して頂きました。

その他、摂食嚥下の基礎知識や薬の飲ませ方、飲み込み確認の仕方など、盛りだくさんの内容になりました。定期的に行い継続していくことで誤嚥のない安全な食事介助を徹底していきます。